

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○不妊治療の際に要した治療費及び交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域不妊治療支援事業費・不妊治療費支援事業		
施策の目的	町内に居住する特定不妊治療を受ける夫婦に対し、治療の際に要した治療費及び交通費等の一部を助成することにより、安心して子供を生み育てることのできる環境づくりを推進すると共に、不妊に悩む夫婦の精神的負担と経済的負担の軽減を図り、少子化対策に努めることを目的とする。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・離島地域不妊治療支援事業費(交通費・宿泊費) ・不妊治療費支援事業費 		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18		092 離島地域不妊治療支援事業費				221		009 離島地域不妊治療支援事業費補				104					
18		138 不妊治療費支援事業				435											
								(一般財源)				552					
計						656	計						656				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ回数	目標	5	-	-	-	-	A
	実績	5					
	目標						
	実績						

【評価】

●本事業の実施により、町内に居住している夫婦の不妊治療が促進されると共に、精神的負担と経済的負担の軽減が図られた。

実人数(5名) 延べ人数(6名)

・離島地域不妊治療支援事業費(交通費・宿泊費) 助成額:221,102円

・不妊治療費支援事業費 助成額:435,235円

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○安心した出産と乳幼児健康のため妊婦・乳幼児の健康を診査		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦・乳幼児健康診査		
施策の目的	町内に居住する妊婦の安心安全な出産のため、また乳幼児の健康保持、増進のため健康診査を実施する。		
具体的な施策内容	・妊婦一般健康診査 ・乳幼児一般健康診査 ・乳幼児むし歯予防処置(2歳6ヶ月)		

【経費内訳】														
款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳						
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
12		043 妊婦乳幼児健康診査委託料				7,170		(一般財源)				7,170		
計						7,170	計					7,170		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用延べ人数	目標	720	720	720	720	720	A
	実績	706					
	目標						
	実績						

【評価】

●本事業の実施により、町内に居住している妊婦及び乳幼児の健康管理が図られた。

・妊婦一般健康診査: 受診実人員(99名) 受診延べ人員(706名)
 ・乳幼児一般健康診査: 受診実人員(209名) 受診延べ人員(298名)
 ・乳幼児むし歯予防処置(2歳6ヶ月): 受診実人員(35名)

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦の健康診査を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	離島地域出産支援事業		
施策の目的	町内加計呂麻島・与路島・請島に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため各離島から奄美大島本島までの一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	加計呂麻島・与路島・請島から古仁屋港までの船代及び宿泊費を助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	3	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	2	003 離島地域出産支援事業費補助金				182	3	003 離島地域出産支援事業費補助金				61					
								(一般財源)				121					
計						182	計						182				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	7					
	目標						
	実績						

【評価】

●本事業の実施により、町内の離島(加計呂麻島・請島・与路島)に居住している経済的負担の軽減により、少子化対策が図られた。

(交通費) 実人員:7名 助成額:132,700円

(宿泊費) 実人員:2名 助成額:49,200円

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊婦が健康診査を受けるため必要な交通費等を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	妊婦健康診査交通費等支援事業		
施策の目的	町内に居住する妊婦に対し、健康診査を受けるため必要な交通費等の一部を助成することにより、赤ちゃんとお母さんの健康と健やかな成長を願い次世代の育成支援を目的とする。		
具体的な施策内容	妊婦健診を受診する際の交通費及び宿泊費を助成		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	113 妊婦健診受診交通費等支援事業				1,550		(一般財源)				1,550					
計						1,550	計						1,550				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
助成事業利用実人数	目標	80	80	80	80	80	A
	実績	74					
	目標						
	実績						

【評価】

- 本事業の実施により、町内に居住している経済的負担の軽減により、少子化対策が図られた。
 (交通費) 実人員:74名 助成額:1,544,000円
 (宿泊費) 実人員:2名 助成額:6,000円

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○妊産婦の孤立感を解消するため産前・産後をサポート		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	相談支援(ママのほっとサロン)		
施策の目的	身近に相談できるものがないなど、支援を受けることが適当と判断される妊産婦及び家族に対し相談支援・情報提供・助言その他の支援を行う。		
具体的な施策内容	町内在住の妊婦さんと先輩ママ(およそ生後6ヶ月までのお子さんのある方)との交流会を実施し、妊娠・子育てへの不安を解消する。 毎月第4水曜日9:00~11:30		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
7		子育て支援報償費				72	11	妊娠・出産包括支援事業費補助金				36					
								(一般財源)				36					
計						72	計						72				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加延べ人数	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	55					
	目標						
	実績						

【評価】

●この事業を行うことで、先輩ママとの情報交換により、初めての妊娠、初めての子育てにおける不安の解消に努めることができた。
実施回数:9回 延べ人数:55人

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○母子の居宅を訪問し、母体・乳児のケアを実施(産後ケア)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	産後ケア事業		
施策の目的	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とする。		
具体的な施策内容	母子の居宅を訪問し、母体の心身ケア、乳児ケアを実施するとともに育児指導を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
12		産後ケア業務委託料				312	11		妊娠・出産包括支援事業費補助金				156				
									(一般財源)				156				
計						312	計						312				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
延べ人数	目標	60	60	60	60	60	B
	実績	49					
	目標						
	実績						

【評価】

本事業の実施により、母体の心身ケア、乳児ケアを行い、安心して子育てを行う環境づくりができた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○乳幼児の疾病の早期発見・治療を支援(乳幼児医療助成)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	乳幼児・児童・生徒医療費助成事業		
施策の目的	窓口での個人負担分を助成することにより子育て世帯の負担軽減を図り、健康の保持推進を図る。乳幼児の疾病の早期発見と早期治療を促進し、乳幼児の健康の保持増進を図るため、乳幼児の保健診療に係る医療費の一部を助成する。		
具体的な施策内容	乳幼児医療費助成金 9,873,596円 乳幼児医療給付事業助成 1,098,364円 合計 10,971,960円 【登録者】乳幼児医療費助成 438人 乳幼児医療給付事業助成 55人 合計493人 【延べ件数】乳幼児医療費助成 4,455件 乳幼児医療給付事業助成 584件 合計 5,039件 ※地方債は過疎ソフト債		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細	費目名				金額	細	費目名				金額					
19	11	扶助費				9,874	2	県支出金				2,799					
							4	地方債				4,500					
								(一般財源)				2,575					
計						9,874	計						9,874				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						

【評価】

●乳幼児の医療費無料化の継続や子育て世代包括支援センターとの連携で切れ目ない支援につなげ、満足度向上を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○養育支援が特に必要な家庭に訪問し養育指導助言を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	養育支援訪問事業		
施策の目的	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保することを目的とする。		
具体的な施策内容	乳幼児全戸訪問事業等により把握した保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童若しくは保護者または妊婦に対し、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
12		母子保健指導委託料				48	6	子ども・子育て支援交付金(県費含む)				32					
								(一般財源)				16					
計						48	計						48				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間実人数	目標	37	37	37	37	37	B
	実績	8					
	目標						
	実績						

【評価】

この事業を実施することで、居宅にて養育に関する相談・指導・助言その他必要な支援を行うことができた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	〇かごしま子育て支援パスポートで子育て家庭を応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	かごしま子育て支援パスポート事業		
施策の目的	事業に協賛する企業や店舗の御好意により、パスポートを提示されたご家族に、割引や独自の優待サービスなどを提供していただくことで、子育て家庭を地域全体で応援する仕組み。		
具体的な施策内容	瀬戸内町内の協賛店登録数 10店舗		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
参加店舗数	目標	20	12	15	17	20	C
	実績	10					
	目標						
	実績						

【評価】

●商工会と協力連携を図るとともに、様々な情報ツールを利用し、周知を図ることで協賛店舗数を増やしていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-1
事業概要	○上記、取組に対応するため「子育て世代包括支援センター」を開設		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子育て支援包括支援センター設置		
施策の目的	子どもを安心して出産し、また、生まれた子どもが健やかに成長していけるよう、出産前から出産後、乳幼児期、さらにその先へと、切れ目のない支援を行うことを目的とする。		
具体的な施策内容	保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする者が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行うとともに、関係機関と協力して支援プランの策定などを行う。		

【経費内訳】

款	4	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	3	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1		報酬				528	6	子ども・子育て支援交付金(県費含む)				511					
4		共済費				69		(一般財源)				256					
10		重要費				71											
17		備品購入費				99											
計						767	計						767				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
設置箇所数	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	1					
	目標						
	実績						

【評価】

「子育て世代包括支援センター」を設置することで、出産前から出産後、乳幼児期、さらにその先へと、切れ目のない支援を行うことができ、不安や心配事の解消に努めることができた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	勇 拓弥
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○就学前の子どもをもつ保護者に子育て学習講座を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	令和2年度 就学時子育て学習講座		
施策の目的	小学校入学前の子どもを持つ全ての親が参加する就学時健康診断の機会を利用して、子供たちに「生きる力」の基礎的な資質や能力(あいさつ等の基本的な生活習慣・生活能力。豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断、社会的マナー、自制心や自立心など)を育むための家庭教育の在り方について考える機会を提供することにより、家庭の教育力再生を図る。		
具体的な施策内容	令和2年度は、瀬戸内町教育委員会 指導主事である川原園 達司先生に「人権教育について」のテーマで、人権教育・人権感覚・いじめ問題等について講演をしていただいた。 就学時健康診断66名の保護者のうち54名の方が受講され、「人権について考えさせられた・子供も親も人権感覚を高める必要がある・親も子供も共に成長していくことの大切さをもう一度親子で確認していく」など様々な意見が寄せられ人権問題についての考える時間を提供できた。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	82	各種講座託児謝金				20		一般財源				20					
計						20	計						20				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
研修会の受講者数(人)	目標	40	40	40	40	40	B
	実績	54					
	目標						
	実績						

【評価】

講演を通して、小学校に入学する子供たちの保護者に、安心して入学させることの手助けを今後も行っていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	勇 拓弥
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○未就学児の運動能力を向上(プレゴールデンエイジ事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	令和2年度 せとうち満天クラブ プレ・ゴールデンエイジ		
施策の目的	プレ・ゴールデンエイジとは、約3歳から8歳の年代を指し、ゴールデンエイジと言われる約9歳から11歳の前段階(プレ)であることを意味する。この時期は、体の使い方の基礎が養われる時期で、特定のスポーツではなく、いろいろな動きにチャレンジするのが良いとされている。本町では、4歳から6歳(未就学児)の子ども達に注目し楽しく安全に遊びながら、運動能力の発達を後押しすることを目的とする。		
具体的な施策内容	授業の内容] 第1回: 6月25日(金) 開講式・トランポリン(34名参加) 第2回: 7月15日(水) リズム遊び(35名参加) 第3回: 8月4日(火) 親子で水遊び(プール)(24名参加) 第4回: 8月5日(金) 親子で水遊び2(プール)(17名参加) 第5回: 9月18日(金) 基本動作・マット運動等(32名参加) 第6回:10月27日(火) 相撲遊び(21名参加) 第7回:12月27日(金) ラグビー遊び(26名参加) 第8回:12月23日(水) かけっこ遊び(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 第9回: 2月26日(水) ダンス遊び(29名参加) 第10回: 3月19日(金) 閉講式・コーディネーショントレーニング(30名参加) (年間参加者219名)		

【経費内訳】																	
款	10	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	79	外部協力者謝金				75	123	プレ・ゴールデンエイジ参加料				62					
								(一般財源)				13					
計						75	計						75				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間登録幼児数(人)	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	52					
	目標						
	実績						
【評価】							
例年、各方面からのスポーツ担当の講師に依頼し、4歳～6歳までの幼児を対象に、遊びの中からいろいろな動きを体験させ、楽しく安全に運動神経を養わせることができています。また、親子で様々なアクティビティに組み込み、子供の楽しむ姿を目にすることで、親のスポーツへの意識・価値に変化をもたらし、子供の日常生活の中の運動・スポーツの順位づけを高めさせる効果が期待できる。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	島田 伸作
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○基本的な生活習慣リズムを定着(ラジオ体操せとうち選手権)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ラジオ体操せとうち選手権		
施策の目的	小学生時代からラジオ体操に慣れ親しむことが重要であり,小学生のラジオ体操の経験はラジオ体操の裾野の広がり繋がるとともに,生涯にわたる健康な生活習慣作りに役立てる。		
具体的な施策内容	小中学生の居住地区の出席率を80～90%に達する児童生徒を表彰する。(賞状及び図書券の授与を行う)		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
7	88	ラジオ体操せとうち選手権による報償費				200		一般財源				200					
計						200	計						200				

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ラジオ体操参加率(%)	目標	70	70	70	70	70	C
	実績	50					
	目標						
	実績						

【評価】

令和2年度は各地区の出席率を算出してたが,事務の簡素化及び児童生徒への結果報告が遅くなったので令和3年度以降は盆休暇・台風等以外の出席率で表彰したいと思う。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	放課後児童健全育成事業		
施策の目的	昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童を対象に、授業の終了後に学校の空教室を利用して適切な遊び及び生活の場を与えることにより、児童の健全な育成を図る。		
具体的な施策内容	古仁屋児童クラブ 開所時間 平日 13:00～19:00 長期休暇 08:00～19:00 年間開所日数 294日 児童数 42人		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	18	細節	123	費目名			金額		細節	3	費目名						
				補助金			6,068				国庫支出金						2,021
										7	県支出金						2,021
											(一般財源)						2,026
				計			6,068				計						6,068

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	70%	/
	実績	/	/	/	/	未定	/
	目標						
	実績						

【評価】

●国に準じた補助金交付により、社会資源を確保し、子育て支援に努め、さらに満足度向上を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	岩永 由希子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○「新・放課後子ども総合プラン」により安全で安心な居場所を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町放課後子ども教室		
施策の目的	すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達と共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進する。		
具体的な施策内容	放課後における子ども達の居場所づくりを地域の人々の協力を得て、様々な体験活動を実施している。 主な活動は、学習支援・レクリエーション・料理教室・パソコン教室・絵画教室・島唄教室・創作活動等。		

【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	8	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	107	放課後子ども教室補助金				1,754	2	かごしま地域塾推進事業補助金				493					
								(一般財源)				1,261					
計						1,754	計						1,754				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
<古仁屋教室> 登録者数(人)	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	40					
<阿木名教室> 登録者数(人)	目標	15	15	15	15	15	B
	実績	10					
<嘉鉄教室> 登録者数(人)	目標	6	10	10	10	10	A
	実績	7					
【評価】							
地域の協力して下さる支援員やサポーターの方々のおかげで活動が継続できている。協力員それぞれの得意分野を生かし、様々な体験活動を実施した。更なる協力者を確保したいところ。 教室共に、活動拠点の問題がある。公民館の広さの問題や、子ども教室専用の場所がない等、改善点も抱えている。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	島田 伸作
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○スポーツをとおして健康な体と心を養う(スポーツ少年団)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町スポーツ少年団連絡協議会		
施策の目的	大島地区スポール少年団競技別交歓大会の開催や県スポーツ少年団競技別交歓大会への参加,さらに町内のスポーツ少年団を一同に集めての体力テストの実施等。		
具体的な施策内容	大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会へ参加し各地域の選手たちとの交流を図る。		

【経費内訳】

款	10	項	6	目	1	事業	1	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節		細		費目名			金額	細		費目名						
18		2		スポーツ少年団連絡協議会 育成補助金			1,032			一般財源						1,032
計							1,032	計							1,032	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
スポーツ少年団地域行事へのボランティアの参加数(人)	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	50					
大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会への参加数(人)	目標	70	70	70	70	70	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

スポーツ少年団活動に積極的の取り組み青少年健全育成に努めている指導者や母集団にスポーツ少年団活動の意義を再認識させる機会とし,心豊かなたくましい青少年の健全育成に資する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	勇 拓弥
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-1-2
事業概要	○学校教育やしつけに関わる講和・人権教育(家庭教育研修)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	令和2年度 家庭教育研修会		
施策の目的	家庭教育やしつけにかかわる講話や人権教育に対する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の充実をはかる。		
具体的な施策内容	人権教育に関すること子育てに関すること・郷土教育に関する知識と理解を深めることで、家庭における教育機会の活性化を図る		

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
講習会参加者数(人)	目標	60	60	60	60	60	D
	実績	0					
	目標						
	実績						
【評価】 家庭教育やしつけ人権問題について知識を深める機会を設けていく。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健福祉係	担当者名	積 裕
----	-------	----	-------	------	-----

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○島外での治療を必要とする障害児に療育旅費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	心身障害児療育旅費扶助		
施策の目的	島外での治療を必要とする障害児と介護者に対して、鹿児島までの旅費の援助を行う。		
具体的な施策内容	対象児童は18才未満とし、船運賃に関しては1/2・航空運賃に関しては1/4を支給し、一人当たり5回までとする。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	31	費目名		金額		61	一般財源	61									
19	31	心身障害児療育旅費扶助		61													
計								61	計								61

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
申請者数	目標	5	5	5	5	5	A
	実績	10					
	目標						
	実績						

【評価】

3組の障害児と保護者、延5回、10人分の旅費の援助ができ障害児を持つ家族の負担軽減を図る事が出来た。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	〇ひとり親家庭が安心して子育てを行うことができるよう支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
施策の目的	母子父子家庭等の方々の生活の安定と健康の保持を図るために、医療費の自己負担分を助成する制度。対象者としてはひとり親家庭の父または母及び児童、父母のない児童。		
具体的な施策内容	ひとり親家庭医療費助成金 4,399,939円 【登録者】 母子・母 110人 母子・児童 162人 父子 父12人 父子・児童 22人 父母のいない児童 3人 合計309人 【延べ件数】母子・母 698件 母子・児童 639件 父子 父49件 父子・児童 62件 父母のいない児童 0件 合計1,448件		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	10	扶助費				4,399	1	県補助金				2,180					
								(一般財源)				2,219					
計						4,399	計						4,399				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	70%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						

【評価】

●0歳～18歳までのひとり親養育者への医療支援の継続や子育て世代包括支援センターとも連携することで、切れ目ない支援を実現し、満足度向上を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○特別支援学級に就学する児童生徒の就学費用に係る支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	特別支援教育就学奨励費		
施策の目的	町内の小学校又は中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のために必要な奨励費を支給する。		
具体的な施策内容	特別支援学級に在籍している児童・生徒を対象に学用品・通学費・給食費・通学費等を補助金の限度額内で補助する。また、通級児童・生徒への通学費の一部を補助する。		

【経費内訳】

款	10	項	2	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
19	44	特別支援就学奨励費(小)				549	7	特別支援就学奨励費補助金(小)				204					
		特別支援就学奨励費(中)				260		特別支援就学奨励費補助金(中)				105					
								(一般財源)				500					
計						809	計						809				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

特別支援学級に就学する児童(8名)・生徒(4名)・通級(交通費のみ1名)に対して、給食費・遠距離通学費に関しては、実費支給、その他の学用品費・通学用品費・活動費は補助限度額内の支給となっている。

財源は、国庫補助金が1/2となっているため、今後も活用していきたい。

※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課・保健福祉課・教育委員会	係名	児童母子係・保健予防係・教委総務係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------------------	----	-------------------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-3
事業概要	○各関係機関と連携し児童虐待問題に迅速に対応		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	児童虐待問題対策事業		
施策の目的	子どもや家庭をめぐる問題は複雑・多様化しており問題が深刻化する前の早期発見、早期対応、子どもや家庭に対する細かな支援が重要となります。そのためにはそれぞれの分野の機関と連携を図り、各機関とネットワークを構築して、その活用を図ることが必要である。		
具体的な施策内容	それぞれの機関の制度や機能を相互に理解し「虐待かどうかわからないが、気にかかる子どもがいる。」というレベルの相談や情報共有が行われるよう、日頃から関係づくりしておく。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
		計	0			計			0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 (基準値H27→27.9%) ※アンケートはR5年度終了時に実施予定	目標				45.0	45.0	D
	実績						
	目標						
	実績						

【評価】

●要保護児童対策地域協議会等を通じて、関係機関と連携をとりながら各個別のケースに対応する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)		
施策の目的	<p>【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。</p> <p>【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。</p>		
具体的な施策内容	<p>【出産祝金】 50,000円×77名=3,850,000円</p> <p>【入学祝金】 小学校入学 50,000円×71人=3,550,000円 高校入学 50,000円×25人=1,250,000円 合計 4,800,000円 ※地方債は過疎ソフ債</p>		

【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
19	34	扶助費				8,650	4	地方債				6,000					
								(一般財源)				2,650					
計						8,650	計						8,650				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						
【評価】 ●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の疾病の早期発見・治療を支援(児童生徒医療費助成)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	要保護児童生徒・準要保護児童生徒医療費		
施策の目的	町内の小学校又は中学校の準要保護世帯・要保護世帯・特別支援学級に在籍している児童生徒に対して医療券を発行し、保護者の負担軽減を図る。		
具体的な施策内容	準要保護・要保護・特別支援学級在籍の児童・生徒へ医療券を配布し、学校保健法に定められている医療費(う歯・副鼻腔炎等)については、町が負担している。		

【経費内訳】															
款	10	項	2	目	2	事業	1	款	14	項	2	目	7	節	1
(単位:千円)								(単位:千円)							
歳出内訳								歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額		
19	58	要保護児童医療費(小)				58	3	要保護児童生徒援助費(小)				6			
	45	準要保護児童医療費(小)				45									
	40	要保護児童医療費(中)				21									
	42	準要保護児童医療費(中)				153									
								(一般財源)				271			
計						277	計						277		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100%	100%	100%	100%	B
	実績	80%	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
<p>学校保健法で定められている医療費に対して、保護者の負担が軽減されている。 要保護世帯の医療費は、国庫補助対象になっているため、今後も活用していきたい。 ※KPIは活用率。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対する就学支援・通学支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	児童生徒遠距離通学費 準要保護児童生徒扶助費		
施策の目的	本町における遠距離通学児童・生徒に対して通学費を支給することにより、義務教育の円滑な推進と、本町の小中学校存続対策を図ることを目的とする。 経済的に困窮している家庭に対して、学用品や給食費などの一部補助をすることで、児童生徒が充実した学校生活を送ることを目的とする。		
具体的な施策内容	通学距離が、小学生は4* ₀ を超える児童、中学生は6* ₀ を超える生徒が対象。通学費に係る金額の1/2を補助する。 準要保護児童生徒扶助費は、認定された児童生徒の給食費・学用品費等の一部補助する。		

【経費内訳】																	
款	10	項	¹ / ₃	目	¹ / ₂	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	遠距離通学費補助金				1,504		(一般財源)				7,934					
19	13	準要保護児童扶助				5,290											
	13	準要保護生徒扶助				1,140											
計						7,934	計						7,934				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	/	/	/	/	
	目標		/	/	/	/	
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
遠距離通学費を補助することで、保護者の負担軽減や児童生徒の確保、学校の活性化につながった。今後も遠距離通学費は必要な事業であるため、今後も継続していきたい。 準要保護児童生徒扶助費を扶助することで、保護の負担軽減になり、全国的にも生活困窮者への教育支援として推奨しているためこれからも継続していきたい。 ※KPIは活用率。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒に対しての各種助成(検定試験・留学旅行等)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	各種検定試験等受験助成		
施策の目的	生徒が各種検定試験等を受験するにあたり,その費用の一部を助成し,保護者の経済的負担を 図る。また,学校が推奨する検定試験を受験することで,生徒の学力向上を目的とする。		
具体的な施策内容	学校長が推奨する各種検定に係る検定料の2分の1を助成。 (54名:漢字検定14名・英語検定40名)		

【経費内訳】

款	10	項	3	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	2	各種検定試験等受験助成				86											
							(一般財源)					86					
計						86	計						86				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

各種検定試験をとおして,生徒の学力向上と,より多くの生徒が検定資格取得を前提として取り組ませ,合格率アップや意欲向上に繋がっている。

※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○子どもの交通事故防止を図るため交通安全教室の実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	子どもの交通安全教育		
施策の目的	子どもに対する交通安全教育は、日常生活における交通安全に必要な事柄、特に自転車等で安全に道路を通行するために必要な知識を身につけ、他人にも思いやりを持って安全に配慮できようすることを目的とする。		
具体的な施策内容	交通安全運動期間に伴う出発式及び市街地パレードに小中学生が参加し、交通安全に対する意識の向上に努めるとともに、啓発活動への取り組みを行った。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※H30 基準値27.9%	目標	30	35	40	45	47	B
	実績						
	目標						
	実績						

【評価】

●今後においても、関係機関と連携を図りながら、子どもの交通事故防止対策について、ソフト・ハードの両面から積極的に推進していきたい。

KPI設定については、R5の目標値を45%に設定しているため、年次的に上昇値で記載。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○児童生徒の通学路等、交通安全対策のため防護柵を設置		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	交通安全施設工事		
施策の目的	通学路や生活道路が集中している区域に対して交通事故防止対策を講じるため、諸施策に取り組むことを目的とする。		
具体的な施策内容	劣化した河川沿いの転落防止柵の整備及び交差点へ歩道分離標(ラバーポール)を設置し、生活道路・通学路の交通安全対策を講じた。 ・古仁屋宮前地区 転落防止柵工 L=45m ・古仁屋高丘地区 歩道分離標(ラバーポール)設置工 N=4本		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	10	事業	2	(単位:千円)	款	11	項	1	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
14	1001	交通安全防護柵				1,449	001	交通安全対策特別交付金				880					
								(一般財源)				569					
計						1,449	計						1,449				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※H30 基準値27.9%	目標	30	35	40	45	47	B
	実績						
	目標						
	実績						

【評価】

●本事業により生活道路・通学路における歩行者及び車両通行の安全が確保された。今後においても、事業を継続し交通安全対策に努める。

KPI設定については、R5の目標値を45.0%に設定しているため、年次的に上昇値で記載。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	牧統 俊和
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成(防犯灯設置事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	令和2年度瀬戸内町青少年健全育成推進会議		
施策の目的	推進会議は、青少年の健全育成に町民すべてが関心を持ち、各種機関団体が協力連携して町民の総意を結集し、行政に呼応しあるいは行政に働きかけを行い、町民総ぐるみの運動を展開し、町民一体となって次代を担う青少年の心身の健全育成を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	推進会議は専門部会として、家庭教育部会・育成部会・社会環境部会を置き、さらに実践活動を推進する町内7地区(古仁屋・西方・山郷・鎮西・実久・請島・与路)の地区推進会議を置き青少年活動を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
7	71	専門部会活動謝金				15		一般財源				107		
7	72	地区会長活動謝金				35								
8	1	旅費				4								
10	1	消耗品費				13								
10	3	印刷製本費				40								
計						107	計						107	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
各専門部会活動(%)	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	50					
地区推進会議の活動(%)	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	40					

【評価】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況のみて開催する。
- ・4専門部会を3専門部会に縮小したので令和3年度の青少年健全育成推進会議の活動内容がまとまりつつ活動内容が絞られる。
- ・地区推進会議(各地区)からの青少年健全育成に向けた取組状況が多く、来年以降も続けていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	危機管理係	担当者名	長
----	-----	----	-------	------	---

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○夜間の防犯対策と青少年の健全育成(防犯灯設置事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	防犯灯設置補助事業		
施策の目的	夜間の犯罪防止と青少年の健全育成等のため、防犯灯設置費の一部を補助することを目的とする。		
具体的な施策内容	LED防犯灯を町内17地区(48箇所)に設置した費用の一部を補助した。 (17地区、48箇所 補助額699,960円)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	11	事業	1	款		項		目		節		(単位:千円)	
歳出内訳								歳入内訳									
節	2	細	費目名			金額		細	費目名								
18	2		防犯灯設置事業			699,960											
計						699,960		計						0			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※H30 基準値27.9%	目標	30	35	40	45	50	B
	実績						
	目標						
	実績						

【評価】

●本事業により、各地区の夜間における犯罪等の未然防止が図られ、青少年の健全育成や住民の安全安心が確保された。今後も、各地区における防犯対策及び安全安心の町づくりの構築に向け、本事業を推進していく。

KPI設定については、R5の目標値を45%に設定しているため、年次的に上昇値で記載。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-1-4
事業概要	○結婚新生活支援により新婚世帯の経済的負担を軽減		

事業名	結婚新生活支援事業
施策の目的	婚姻に伴う新生活を経済的に支援し、若い世代の結婚の希望をかなえ地域における少子化対策の強化に資することを目的とする。
具体的な施策内容	交付1件当たり、30万円を上限に支援。うち1/2(上限)程度が国庫補助。 問合せは数件あったが、交付条件を満たす世帯は、1件にとどまった。 世帯合計所得や年齢など、国の交付基準に沿ったものとしている。(R3年度において、国の交付条件も緩和された。)

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細	費目名				金額	細	費目名				金額					
18	002	128_結婚新生活支援				300	007	結婚新生活支援事業補助金				150					
								(一般財源)				150					
計						300	計						300				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て環境の満足度 ※アンケートはR5年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	45%	45%	D
	実績	/	/	/	未定	未定	
出生数 ※R6の75人/年に向けて段階的に設定	目標	70	71	72	73	75	B
	実績	73	/	/	/	/	
合計特殊出生率 ※R6の2.20に向けて段階的に設定 ※奄美大島人口ビジョンを参考	目標	2.04	2.09	2.14	2.17	2.20	A
	実績	2.20	/	/	/	/	

【評価】
<p>●平成29年より事業実施しているが、これまでの交付実績は合計4件にとどまっている。 財源が国庫(1/2まで上限)である。世帯合計所得や年齢などは国の交付基準に沿ったものとなっていたため、交付条件を満たす申請が少なかった。 そのため、国もR3より交付対象世帯の増へ向け、交付条件の緩和を実施。 町においても、本事業を継続することとなった。 また、新規に、町財源にて新婚の全世帯を対象とする「結婚祝い食事券給付事業」を実施し、より良い結婚新生活への支援となるよう積極的に情報発信など行っていく。</p>

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	○地域で抱える保育ニーズにきめ細かく対応(地域型保育)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域型保育給付事業		
施策の目的	事業所内保育施設や小規模保育事業施設等において、3歳未満児を対象に保育を行い、給付費等の支給に要する費用の一部を負担することにより、子どもが健やかに成長するように支援することを目的とする。		
具体的な施策内容	負担金 社会福祉法人 潤生会保育園 33,338,520円 日本基督教団瀬戸内教会 かな保育園 32,170,630円		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14 15	項	1 1	目	1 1	節	5 7	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	291	負担金				65,509	2	国庫支出金				40,666					
							2	県支出金				15,442					
								(一般財源)				9,401					
計						65,509	計						65,509				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
保育事業等の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						

【評価】

●保育を希望するニーズ(特に3歳未満)に柔軟に応えられるよう、今後も民間事業者とも連携して取り組み満足度向上を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-1-5
事業概要	○急な用事に対応する子どもの一時預かり事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	一時預かり事業		
施策の目的	家庭において保育を受けることが一時的に困難となる乳幼児について、昼間一時的に預かり、必要な保護を行う。		
具体的な施策内容	NPO法人ママ・サポ・スマイル 開所日数 120日 延べ利用人数 433人		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	2	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	127	補助金				1,680	3	国庫支出金				560					
							7	県支出金				560					
								(一般財源)				560					
計						1,680	計						1,680				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度 ※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	70%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						

【評価】

●国に準じた補助金交付により、保護者の負担軽減及び乳幼児の健全育成に努め、さらに満足度向上を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	森 智子
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○子ども会育成連絡協議会の活動とおした家庭学習の充実		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町子ども会育成連絡協議会		
施策の目的	各種の事業・活動とおして、育成会員等の相互の協力と研究により、人間としての基本的な生活習慣を徹底することにより、相手を尊重し、郷土を愛する態度を育て、冷静な判断・安全な行動のできる子どもを育成することを目的とする。		
具体的な施策内容	青少年団体歩こう会への参加 256名(スポーツ少年団7団体・子ども会21家族) (コロナウイルス感染症拡大防止のため、清水運動公園～マネン崎折り返し) 青少年団体相互の親睦と、会員相互の交流を深め、21世紀を担う青少年をたくましく育成するために、本町を歩きとおす中で、体験や経験を多く積ませ汗を流すことにより、豊かな創造性・協調性・忍耐力を養う。併せて、本町の史跡などを巡ることにより、文化・文化財に触れる機会とする。		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	107	瀬戸内町子ども会育成連絡協議会補助金				127		一般財源				127					
計						127	計						127				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
青少年団体歩こう会への参加者数(人)	目標	200	200	200	200	200	A
	実績	256					
	目標						
	実績						

【評価】

●どちらも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況を見て開催する。
・年1回開催の「青少年団体歩こう会」について、まずは、他行事と重複した場合を考え、実施に伴う関係者の打合せを早期に開催し、学校等関係機関へのチラシ配布と同時に町HPなど周知を徹底する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○小規模校の学習支援(高度へき地学校児童生徒修学旅行費)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	高度へき地学校児童生徒修学旅行費		
施策の目的	町内の児童・生徒に社会的見聞を広め、団体行動・グループ行動を通じて、社会性・責任感・公共心・公德心を身につけさせ、将来の郷土を築く人材育成を目的とする。		
具体的な施策内容	修学旅行の一部負担。 小学生:一人25,000円 中学生:1人55,000円		

【経費内訳】

款	10	項	2	3	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	1	(単位:千円)
歳出内訳										歳入内訳								
節	細節	費目名					金額	細節	費目名									
19	14	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(小)					1,900	4	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(小)					2,087				
	16	高度へき地学校児童生徒修学旅行費(中)					3,685		高度へき地学校児童生徒修学旅行費(中)					1,708				
									(一般財源)					1,790				
計							5,585	計							5,585			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子ども・子育て支援の充実度	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

次世代の瀬戸内町を担う児童生徒に、より多くの社会的見聞を広め、団体行動を通じて、社会性・責任感・協調性を身につけることができた。また、保護者の経済的負担を軽減できることから今後も活用していきたい。
※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○ICTによる学びの質や深まりを向上(電子黒板・タブレット)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	GIGAスクール端末導入事業		
施策の目的	国が定めるGIGAスクール構想に係る1人1台PCの実現		
具体的な施策内容	児童・生徒1人1台タブレットとの整備を実施		

【経費内訳】																	
款	10	項	2 3	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7 7 1	節	1 2 1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細 節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
17	8	パソコン購入費				43,085	9	公立学校情報機器購入事業費補助金				19,795					
							011	地方創生臨時交付金				23,290					
計						43,085	計						43,085				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
次世代を担う子どもたちが健やかに成長している	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
学校における高速大容量のネットワーク環境(校内LAN)の整備により、全生徒が授業等で活用してもストレスなく行うことができる。 ※KPIは設置数・活用率。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○AIロボットプログラミング教室で簡単なICT技術を習得		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	プログラミング教育用ロボットリース事業		
施策の目的	ロボットを利用することにより、プログラミング学習を充実させる		
具体的な施策内容	児童生徒が、IBブロックを利用しプログラミング学習を行っている。IBブロックに添付されたバーコードをパソコンに読み込ませ、試行錯誤しながらロボット「nao」を操作していく授業を展開する。そのため、児童生徒にプログラミング的思考を養わせながら、プログラミング学習の充実を図っている。		

【経費内訳】													
款	10	項	2	目	2	事業	1	款	項	目	節	(単位:千円)	
歳出内訳						歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
13	5	機器リース料				405,444							
								(一般財源)				405,444	
計						405,444	計						405,444

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プログラミング学習の充実	目標	/	80%	80%	100%	100%	B
	実績	70	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】
児童生徒は一人一台端末が配布されている。現在のグループ学習のみの取組ではなく、自力解決をする場面を設けたり、ICT支援員を利用し、専門的なプログラミング学習をしたりする際にロボットを利用し、これまでより高度なプログラミング学習を行っている。
※KPIは、学校全体に対する活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○ALTの活用による国際理解教育と英語教育の推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	外国青年招致事業		
施策の目的	外国語を母国とする外国語指導助手(ALT)を2名配置することにより、児童・生徒の英語発音や国際理解の向上を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT2名配置。 ・各小・中学校、幼稚園訪問。 		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	4	事業	1	款	項	目	節	(単位:千円)	
歳出内訳							歳入内訳						
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
1	33	報酬				7,320	(一般財源)					9,031	
4	4	共済費				1,021							
8	8	旅費				77							
10	10	需用費				30							
13	13	使用料及び賃借料				351							
18	18	負担金、補助及び交付金				232							
計						9,031	計						9,031

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
未来に生きる確かな学力の取組	目標		100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%					
	目標						
	実績						

【評価】
 次世代の瀬戸内町を担う児童生徒に、より多くの社会的見聞を広め、団体行動を通じて、社会性・責任感・協調性を身につけることができた。また、保護者の経済的負担を軽減できることから今後も活用していきたい。
 ※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	学校教育係	担当者名	下八尻 孝二
----	----------	----	-------	------	--------

基本目標	3	項目	3-2-1
事業概要	○加計呂麻島における児童生徒のためスクールバスを運行		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	スクールバス運営費		
施策の目的	瀬戸内町立加計呂麻地区の小学校及び中学校における児童生徒の通学の便益と安全を図り、学校教育の円滑な推進に資するため、スクールバスを運行する。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加計呂麻島の西方地区の児童・生徒(伊子茂小・中学校に通う生徒)が主に利用。(往路 11名利用 復路2便 15名利用) ・通学以外に集合学習等の利用や災害・事故等で公益上緊急の必要がある場合も利用できるとする。 		

【経費内訳】																	
款	10	項	3	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7 7 1	節	1 2 1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
10	325	需用費				728											
11		役務費				26											
12		委託料				3,000											
13		使用料及び賃借料				20											
26		公課費				12											
							(一般財源)	3,786									
計						3,786	計						3,786				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
通学の便益と安全(利用者数)	目標	/	15人	15人	15人	15人	A
	実績	15人	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
<p>スクールバスの運行により、児童・生徒の通学時の安全確保や保護者の負担軽減に繋がる。また、学校行事や集合学習等の移動にも活用している。</p> <p>※KPIは利用者数</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	島田 伸作
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-2
事業概要	○自然体験、ボランティア活動、世代間交流活動の促進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	自治会清掃の日及び青少年ふるさと美化活動		
施策の目的	毎月第3日曜日の「家庭の日」の普及・啓発活動の一環として古仁屋市街地において道路や河川の清掃をする。また、青少年ふるさと美化活動については、町内全域を対象に青少年の心の教育や環境教育の一環として地域ぐるみによる一斉美化活動を実施する。		
具体的な施策内容	市街地自治会長に毎月文書にて清掃実施の自治会内家庭に連絡をしてもらい、木くずや小枝等のゴミについては旧菴美の園へ運搬し、その他燃えるゴミ等については衛生センターへ運搬してもらう。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
自治会清掃及び青少年ふるさと美化活動の参加人数	目標	70	70	70	70	70	B
	実績	50					
	目標						
	実績						

【評価】

今後も継続して実施し、世代間交流の創出や、「世界自然遺産登録の街」に居住している住民全体での美化意識の醸成を図っていく取組とする。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	きゅら島交流館	担当者名	屋田 卓也
----	-------	----	---------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○島口や八月踊りなど伝統文化を発表会等をとおして伝承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	こども島口・伝統芸能大会		
施策の目的	子ども達が地域の人々との触れ合いの中で、島口、島唄、三味線、八月踊り、太鼓、伝統芸能などを学び郷土への誇りを持つ心を育てることを目的とする。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大会に参加する町内小中学校の児童生徒へ図書券を支給 ・大会に参加する引率者と児童生徒へ交通費を支給 		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
7	55	こども島口大会参加謝金				0											
8	3	こども島口大会参加旅費				0											
計						0	計						0				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大会への参加小中学校数(学校数)	目標	13	13	13	13	13	D
	実績	0					
大会への参加児童生徒数(人)	目標	120	120	120	120	120	D
	実績	0					

【評価】

・令和2年度のこども島口・伝統芸能大会は、11月14日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会が中止となった。
令和3年度以降は、シマの素晴らしい文化や伝統を継承していくために、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策等を講じて大会を開催していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	梶 丈太郎
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3	No.78と同
事業概要	○埋蔵文化財を把握し内容・価値に応じて適切に保存・活用			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	埋蔵文化財調査費		
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整を行うのみでなく、郷土教育や観光にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。		
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、近代遺跡(戦争遺跡等)については、国庫補助事業を活用して調査を実施しており、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討に努めている。令和2年度は、これまでの調査成果の整理を行い、調査成果を活かした講座等を実施した。		

【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	4	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1・3		報酬・手当				2,683	1	文化財保護事業補助金(国庫補助分)				4,322					
4		共済費				401	1	文化財保護事業補助金(県補助分)				229					
7		報償費				60											
8		旅費				906		(一般財源)				4,967					
10		需用費				403											
12		委託料				4,886											
13		使用料及び賃借料				179											
計						9,518	計						9,518				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報・活用 ※R6の10講座/年に向けて段階的に設定	目標	6	7	8	9	10	B
	実績	6	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
<p>●補助事業等調査で得られた成果については、報告書を作成するための資料整理・補足調査(5箇所)を実施した。報告書は、令和3年度に刊行予定である。</p> <p>埋蔵文化財に係わる開発協議及び手順が周知されるようになってきたため、埋蔵文化財の保護と開発事業の円滑な調整が適切に行われるようになってきている(照会箇所10箇所)。</p> <p>遺跡の活用事例は、新型コロナウイルスの影響により、島外者の調査や案内は減少した。しかし、島内の学校や島民の近代遺跡(戦争遺跡等)を活用した平和教育利用が増加(6件約130人)した。</p> <p>令和3年度以降は、世界自然遺産登録や報告書刊行の影響により、埋蔵文化財活用事例の増加が見込まれる。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	------	------	-------

基本目標	3	項目	3-2-3
事業概要	○大島紬着付け体験をととした伝統文化の継承		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	大島紬着付け体験事業		
施策の目的	奄美の伝統文化である大島紬の歴史・製法などを知り、実際に着てみることによって関心を深める		
具体的な施策内容	本場奄美大島紬協同組合青年部の協力のもと、大島紬の歴史や製法種類について講話と大島紬の着付け体験を全員行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		必要経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大島紬着付け体験満足度 ※アンケート	目標	80%	80%	80%	80%	80%	C
	実績	90%					
	目標						
	実績						

【評価】

1学年部が地域の大島紬事業者等と段取りを進め、大島紬の歴史と伝統、現代のニーズを捉えた取組などを学んだ後、専門家の指導により、自ら着付けを行う中で、郷土の誇るべき大島紬につて掘り下げて学ぶことができた。本年度は、コロナ禍により体験学習や実習が中止を余儀なくされる中で感染対策を行い実施することができたので、来年度以降は大島紬を柱に地域の活性化に取り組む団体等にも働きかけを強め、地域に密着した体験学習や体験実習等に発展させていく考えである。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-1
事業概要	○職場や学校、地域において男女共同参画意識を浸透		

事業名	瀬戸内町男女共同参画研修会～困難を抱える女性の課題解決へ向けて～
施策の目的	男女共同参画の視点に立ったまちづくりの一環として、住民と行政が連携した困難を抱える女性の課題解決のための意識醸成を図るために実施する。(町民と行政職員が共に研修を受け、気づきや発見のある研修とする。)
具体的な施策内容	庁舎内において、本事業と関連のある課局職員へ通知し、研修に係る準備段階から連携し取り組んだ。コロナ禍ではあったが、感染症予防対策を徹底し、町内のあらゆる団体から約60名の参加をいただき、講話・ワークショップまた、新たな取組として、研修内容をリアルタイムでビジュアル化することで、内容を整理しフィードバックを与え、参加者に理解を深めてもらうための“グラフィックレコード”も取り入れた。

【経費内訳】

款	3	項	1	目	8	事業	2	款		項		目	節			(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名								
7	008	講師謝金				10		一般財源				10				
計						10	計						10			

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
男女共同参画への意識醸成にかかる研修会の実施	目標	実施	実施	実施	実施	実施	A
	実績	実施					
	目標						
	実績						

【評価】

●固定的役割分担意識やDVなどにより困難を抱える女性に対する、研修会を開催。民間、PTA、民生委員、社会福祉協議会など多くの参加をいただき、コロナ感染症対策を徹底しながら、講話・グループワーク・グラフィックレコードの実践などを実施。また地域女性連絡協議会の協力により「子どもサポート」も実施し、お子様連れの女性にも多くの参加をいただくことができた。(子どもサポート利用者14名)
令和3年度においても、地域の実情、状況に応じ、最適な取組を実施していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	保健予防係	担当者名	太原 佳文
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力の防止及び被害者を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	DV被害者支援		
施策の目的	配偶者等からの暴力等から早急に被害者を保護及び避難させることで、被害の拡大を防ぐことを目的とする。		
具体的な施策内容	DV被害にあった方から相談があれば、保健師による相談内容の聞き取り、また警察や瀬戸内事務所と連携し、被害者の保護に努める。 避難の必要がある場合は、避難先の手配を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
相談件数	目標	5	-	-	-	-	A
	実績	5					
	目標						
	実績						

【評価】

DV相談件数(虐待含む):5件
保健師による相談内容の聞き取りを行い、内容によっては警察の介入を含め、避難を促し被害の拡大を防いごことができた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-2
事業概要	○配偶者等からの暴力対策庁内連絡会議を実施し情報を共有		

事業名	“我が事・丸ごと”支え愛事業「住まい部会」
施策の目的	チームせとうち“我が事・丸ごと”支え愛事業に「住まい部会」を設置し、住宅確保要配慮者等に対し支援を実施することで、一人ひとりの「住まいの安心の確保」に繋げる。
具体的な施策内容	<p>①6/3 (第1回庁内連携会議) →セーフティネット住宅に係る問題に対し、企画課・保健福祉課による協議実施</p> <p>②6/17 (第2回庁内連携会議) →町民生活課(児童母子係)も加え、DV対応について協議。協議内容については議事録を作成し、関係職員による共有事項とした。</p> <p>③8/7 (第1回住まい部会) →関係機関等、約40名の参加をいただき開催。庁内連携会議の報告また、町営住宅の状況、その他意見交換など実施。</p> <p>④8/14 (第8回“我が事・丸ごと”支え愛地域づくり推進会議へ参加</p> <p>⑤令和3年度からの設置を目指し、「居住支援協議会」体制構築に向けた意見交換会を庁内関係職員また、県住宅政策室等から4名の参加により実施。</p> <p>⑥12/7 (第3回庁内連携会議) →保健福祉課・建設課・企画課により、DV案件に係る住宅確保について協議。DV被害者本人のみでなく、その関係者も含め「住宅確保要配慮者」となり得る案件であった。</p>

【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳						歳入内訳											
節	細節	費目名			金額	細節	費目名										
		必要経費無し															
計					0	計					0						

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
居住支援協議会の設置	目標	協議開催	設置	運営	運営	運営	A
	実績	協議開催					
	目標						
	実績						
【評価】							
<p>●年間を通して、庁舎内連携した取り組みができたと思われる。 DV被害者など「住宅確保要配慮者」の定義について、また当案件については、緊急性や機密性があるため、関係職員の共通した意識付けが必要だと感じ、より良い連携を図ることに努めた。 R3以降については、更なる取組強化として、「居住支援協議会(主:保健福祉課)」の設置を目指し、空き家対策等も含めた事業として展開していく。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	義永
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-3
事業概要	○管理職へ女性を登用し施策や方針の決定過程に参画を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画		
施策の目的	管理的地位にある職員に占める女性割合を12.5%以上にする。		
具体的な施策内容	(7) 課長・課長補佐・係長の各役職段階における女性職員の人数を増やすなど、人材確保を念頭に置いた登用を行う。 (1) 国県、民間企業、他団体等への女性職員の出向機会を積極的に確保。 (9) 管理職に必要なマネジメント能力の付与のための研修、仕事と生活の調和の推進に関する管理職研修等を行うことによる女性職員のキャリア形成の支援を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
課長・課長補佐・係長の各役職段階における女性職員の人数を増やす	目標	10/94	10/94	10/94	11/94	12/94	C
	実績	8/94					
国県、民間企業、他団体等への女性職員の出向機会を積極的に確保	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	2					
女性職員のキャリア形成の支援(女性職員研修の実施)	目標	1	1	1	1	1	A
	実績	1					

【評価】

- ・女性職員の係長への登用も降格願いや等により役職に占める女性職員の割合が伸びない。
- ・女性職員の意欲向上、キャリア形成の支援等により係長以上の役職に占める女性職員の割合増加を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	総務課	係名	人事行政係	担当者名	義永
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	3	項目	3-3-4
事業概要	○長時間労働の改善や育児・介護・年休の取得を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下 ・育児休業の取得率男性10%、女性100% ・年次有給休暇の取得日数16日以上 		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務縮減を実現するために課内調整を行う。 ・同僚が休暇取得をしやすいよう、皆で協力して職場を支えていく意識を持つ。 ・育児に関連した行事への参加など年次休暇を積極的に取得させるよう努める。 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
職員一人当たり・一月当たりの平均超過勤務20時間以下	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	6.2					
育児休業の取得率男性10%、女性100%	目標	男10女100	男10女100	男10女100	男10女100	男10女100	C
	実績	男0女100					
年次有給休暇の取得日数16日以上	目標	16	16	16	16	16	C
	実績	12.4					

【評価】

・育児休業取得については、制度の周知を図るも給与等に影響するため、男性職員の取得が進まない。
 ・年次有給休暇の取得日数については、全職員年間5日間取得を最低基準とし、年次休暇の計画的な取得を図り、所属職員が相互にサポートすることに努める。